



ボランティア

12
2025

インタビュー特集号だよ



大学生×駄菓子×地域が創る
子どもがワクワクする未来

【特集】一般社団法人 駄可笑屋敷プロジェクト

代表理事 久我 凛太郎さん

3面…ボランティア情報 瓦版
4面…歳末たすけあい運動 ご協力のお願い

お問合せは 杉並ボランティアセンター TEL : 03-5347-3939 / FAX : 03-5347-2063 / メール : info@borasen.jp



「募金」が「地域」を
よくするしくみ

令和7年度
杉並区社会福祉協議会
地域福祉活動費
助成金事業

【特集企画】

地域づくりの最前線 ～そのチャレンジ！応援します～

一般社団法人 駄可笑屋敷(だがしやしき)プロジェクトは、2021年3月に任意団体として設立し、2025年1月に一般社団法人化された団体です。代表理事の久我さんを中心に、100名を超える大学生ボランティアが企画・運営をしています。「こどもたちに多様な価値観と経験を届ける」ことを目的に、地域コミュニティの立ち上げと運営を行っています。

駄可笑屋敷プロジェクトとは

私たちの団体では、三つの事業を行っています。一つ目は、子どもを中心とした地域の居場所づくりです。この活動は、方南銀座商店街にある『駄可笑屋敷(※1)』から始まりました。1階が駄菓子屋になっていて、子どもたちや地域住民が気軽に立ち寄れる親しみやすい空間です。地域福祉活動費助成金は、中高生も利用しやすくなるように、2階の空き部屋の環境整備に活用しました。読書や宿題、ミーティング等の利用が自由にできる落ち着いた空間をつくることができました。

二つ目は、イベント事業です。子どもから大人まで笑顔になれる体験を届けられるよう、商店街や町会、時には行政と大学生と一緒にイベントやお祭りの企画・運営をします。

三つ目は、地域に特化したSNSや公式LINEの構築・運用の代行です。SNSに強い世代であることを活かして、商店街等の公式LINEの運営を代行し、地域の方が知りたいリアルな情報を、地域で活動する立場から発信しています。



▲2階の静かな空間でゆったり

▲方南銀座商店街の『駄可笑屋敷』

つながりから出会った奇跡の場所

私の活動の基盤は、児童館にあります。小学生の時は利用者として、中学生になると運営のサポートメンバーとしてボランティア活動を始めました。そこで中学生ながら、イベントの企画や運営に携わり、運営の舞台裏を見られるワクワク感と、自分の企画が実現できた喜びから活動にやりがいを感じ、「自分の児童館を立ち上げること」が夢になりました。

大学生になり、子どもの居場所を運営するNPO法人で活動を始め、不動産屋さんから空き家となった駄菓子屋『駄可笑屋敷』の活用について声をかけていただきました。この物件との出会いが転機だったと思います。

一人で始めた活動ですが、現在はこの団体の目的に共感してくれた130名程の学生ボランティアと一緒に活動をしています。

杉並ボランティアセンターでは、「地域福祉活動費助成金」を通して、地域で活動する団体を応援しています。

今回はその中の一つ、チャレンジ応援助成団体※2、**一般社団法人 駄可笑屋敷プロジェクトの代表理事・久我凛太郎さん**にお話を伺いました。

※2.チャレンジ応援助成とは…新規の活動を応援するための助成金。地域の方々からの善意で集まった歳末たすけあい運動募金が原資になっています。

子どものワクワクと地域活性化のために

活動を始めて直面した課題は「信頼の獲得」です。実績やつながりもなく、最初は地域に関わりたくても断られることが続きました。そこで、地域の方が集まる場にはできる限り顔を出し、挨拶や掃除をみんなで行うことから始めました。ひたむきに取り組み、徐々に地域の皆さんに私たちの想いを知ってもらうことが出来ました。

駄菓子屋はあくまでも地域の活性化や、子どもたちへ多様な経験を届けるための手段に過ぎません。目的を達成するために、私たちに何ができるか考え、事業を進めています。例えば、子どもたちに知ってもらうために、近隣の小中学校や児童館に対して支援員の派遣活動を行っています。また、イベントの運営では、商店街でゾンビを見つけ謎を解いていくスタンプラリーや、子どもたちが商品開発やPRから行う職業体験などを通し、子どもがワクワクするような経験や、地域を盛り上げるといった目的をメンバーみんなが意識をしています。その結果、活動が広がってきているのを感じています。

「大学生」運営についてと読者へのメッセージ

『駄可笑屋敷』では、子どもたちから「こうしたらもっと人がくるよ!」といった運営に対する意見をもらうことがあります。自分が運営に関わる喜びは、私自身がボランティアを始めた中学生の時から感じていたのでよくわかります。この子どもが気軽に話せる関係性が大学生の強みです。

現在私は大学院生ですが、この活動が私自身の生き甲斐となっているので、就職後も活動を続けていきます。しかし、運営の中心となるのは「現役の大学生」たちであり、社会人と子どもの間の存在であることが求められていると考えています。団体の活動が継続できるよう、今後もひたむきに地域と関わっていくことや、メンバーの募集は続けていきたいです。この活動は方南町ではじまり、地域活動者との出会いから、今年度は井荻駅近く(下井草)での新たな居場所のオープンにつながりました。出会いを大切に、杉並区内の他の地域も盛り上げていければと思っています。

『駄可笑屋敷』は子どもたち、大学生、地域が創るワクワクするような場所なので、まずは皆さんに気軽に立ち寄ってもらえたらうれしいです。

一般社団法人 駄可笑屋敷プロジェクト

HP: <https://dagashi-ysk.com/>

※1. 『駄可笑屋敷』(方南2-12-27) 毎週月・木・金曜

15:00～17:30 土曜 13:00～17:30 / 『だがしやさん』

(下井草4-29-17 たっぷ) 毎週木・日曜 15:00～17:30





子育てきずなサロンのボランティア

子育てきずなサロン「ママころ」はママとお子さん・ママおひとり・妊婦の方などがゆったりと会話できるサロンを運営しています。活動にあたり、一緒に運営をしてくれるスタッフを募集します！ご興味がありましたら、一度、見学にいらっしやいませんか？

【日時】毎月第1・3・5 月曜日 9:00～12:00

【会場】コミュニティふらっと阿佐谷
(阿佐谷北2-18-17)

【対象】女性のみ、年齢制限なし
年に3回以上ボランティア活動ができる方

【内容】利用者の見守り・会場設営

【問合】杉並区社会福祉協議会 地域福祉推進係
☎：03-5347-1017



【イラスト協力】
女子美術大学
短期大学部
松尾なつきさん

忘れずチェック
その他

⑧ 毛糸を寄付していただませんか？

ケア24下井草では、ケアマフ(主に認知症の方の気持ちが落ち着くと言われている筒状のマフラー)を編む活動団体への毛糸の寄付を募集しています。糸の太さや色、古さ等問いません。ご寄付いただける方がいらっしやいましたら、よろしく願いいたします。

【申込】電話にて

【その他】毛糸は取りに伺いたいと考えていますが、電話にて相談させてください。

【問合】ケア24下井草(担当：長嶋)
☎：03-5303-5341



火曜電話相談室

さびしいとき、迷っているとき、心が疲れたとき、ひとりで悩まないで、その思いを話してみませんか。予約不要・秘密厳守・匿名・無料の電話相談です。夫婦・嫁姑・子育て・介護などの家族問題に悩んでいる、職場の人間関係や近所づきあいなどのストレスがある、生きがいがない、気持ちを話せる人がいない…どんなことでも、あなたのお気持ちを大切に、訓練されたボランティアがお話しをお聴きし、一緒に考えます。

【日時】毎週火曜日11:00～16:00
(祝日・年末年始を除く)

【対象】どなたでも

【問合】火曜電話相談室 ☎：03-5335-7781



小～大学生対象 保育園ボランティア

こどもヶ丘保育園では、「子どもが好き」「保育の仕事に興味がある」「社会貢献したい」といった学生(小学生から大学生・専門学生)の方を対象として、職場体験ボランティアを募集しています。職場体験ボランティアを通して、子育ての喜びや楽しさ、保育の仕事を知っていただき、保育業界へ興味を持つきっかけになってくれたら嬉しく思います。

※詳細は当センターホームページをご覧ください。

🌐：<https://www.borasen.jp/forum/subject/454>

【日時】月～土曜日(祝日を除く) 9:00～18:30間で
1日1時間から応相談

【会場】こどもヶ丘保育園成田西園(成田西3-19-6 1階)
こどもヶ丘保育園阿佐谷南園
(阿佐谷南1-13-16 1階)

【対象】・保育園の仕事に興味がある小学生、中学生、
高校生で保護者の方の同意が得られる方
・将来は子育て支援者として働くことを目指
している大学生や専門学生の方

※ボランティア保険はご自身で
加入をご検討ください。

【申込】成田西園まで電話にて(平日9:00～17:00)

【問合】こどもヶ丘保育園成田西園
☎：03-6279-9218



🗣️🗣️ 地域の世話役! 杉並区スポーツ推進委員

スポーツ推進委員は、区が委嘱する非常勤職員です。運動する機会が少ない区民に向けて、スポーツを始め
るきっかけづくりを提供すべく、誰もが参加できるス
ポーツ体験やレクリエーション活動の企画・運営等を行
っています。体を動かすことが好きな方、スポーツ
や地域活動を通じた人との関わりに興味がある方、大
歓迎です！※詳細はホームページをご覧ください。

【日時】任期は令和8年4月1日から令和10年3月31日
まで 活動頻度は月2～5日

【対象】区内在住で18歳以上の方(令和8年4月1日時点)

【申込】申込フォーム、または所定の申込書に作文を
添えて、郵送または持参にて
令和8年1月7日(水)17:15まで(受信有効、必着)

【問合】杉並区役所 区民生活部 スポーツ振興課

🌐：<https://www.city.suginami.tokyo.jp/s032/news/22836.html>

☎：03-3312-2111 (代表)



⑧ 未使用のタオルを募集します

ボランティアが縫製して、施設の衛生を改善する雑巾や食事の際の前掛けに仕立てています。また、能登半島の大雨被害では支援団体へお渡しし、浸水等の被害にあった施設を拭くためにご使用いただきました。ご自宅に未使用のタオル(シーツ不可)などがありましたら、ご寄付をお願いします。ご不明な点は、杉並ボランティアセンターへお問い合わせください。

【問合】杉並ボランティアセンター ☎：03-5347-3939

期間
12月1日～12月31日

歳末たすけあい運動 ご協力をお願いいたします

歳末たすけあい運動の募金は、きずなサロンをはじめ、地域に根差した活動を行う区内の福祉・ボランティア団体への助成、福祉学習のために貸し出す福祉体験用具(車いす、高齢者模擬体験セット)などに役立てられます。今年もみなさまのあたたかいご支援をお願いいたします。

募金方法

- 杉並区社会福祉協議会の窓口
(天沼3-19-16
ウェルファーム杉並4階)
- 振込 ※右記をご確認ください。

本募金は、町会・自治会の皆様からもご協力いただいています。



【振込方法】

◆ ゆうちょ銀行もしくは郵便局で手続きする場合
ゆうちょ振込口座 記号・番号: 00180-5-500629
口座名義: 社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会

◆ ほかの銀行等の金融機関から、ゆうちょ銀行口座へ振り込む場合

銀行名: ゆうちょ銀行 支店名: ○一丸(ゼロイチキュー)店
口座種類: 当座預金
口座番号: 0500629
口座名義: 社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
※手数料をご負担いただく場合があります。
※ご連絡いただければ払込取扱票をお送りします。

お問合せ

杉並区社会福祉協議会 地域支援課 連携推進係
TEL: 03-5347-2064 FAX: 03-5347-2063

ボラセンブログをご覧ください

杉並ボランティアセンターHP内の「ボラセンブログ」では、本紙に入りきらなかった講座やイベントのレポート等を掲載しています。「夏ボラ」や「はじめての災害ボランティア講座」についても更新しました！先月号でご案内したYouTubeと併せて、ぜひご覧ください。



今年度は「SNS活用」をテーマに開催いたします。申込や詳細は1月号にて！
(2026.1.9発行)

ボラセン団体交流会 開催します！

日時 1/31(土) 14:00～16:00

会場 ウェルファーム杉並 4階
共用会議室1・2(天沼3-19-16)

講師 秋本創氏 (NPO法人 埼玉情報センター事務局次長)

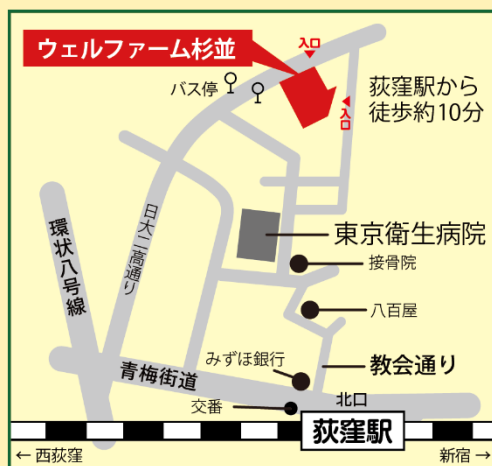
地域活動団体向けの交流会です。
皆様のご参加をお待ちしております！

年末年始休業日

杉並ボランティアセンターは

12月28日(日)
～1月5日(月)まで
休業いたします。

今年も一年間ありがとうございました！



杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

この情報紙は、ボランティアの方々に、宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。いつもご協力ありがとうございます。

発行: 社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063
メール: info@borasen.jp ホームページ: https://borasen.jp

うえるくん

杉並社協のイメージキャラクター

開所時間: 火～土曜日
8:30～17:00

* 祝日・年末年始はお休みです。



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド(区内JR、地下鉄丸の内線など)・他